

あなたが主役！ 地域の笑顔広がる「まちづくり協議会」

私たちの住んでいる地域を自分たちの力で、さらに住みやすいまちにしようと活動しているまちづくり協議会（まち協）。

各地区で活動しているまち協の役割や、活動内容について紹介します。

◎問い合わせ コミュニティ課

☎23-7146

まちづくり協議会

近年、「お互いに助け合い、協力する」という地域住民同士のつながりが希薄になりつつあり、地域を取り巻く環境が大きく変化しています。そこで、市では地域コミュニティの充実や強化を図るため、協働のまちづくりを推進しています。

市では、その柱として、地域住民が中心となって、身近な課題を解決したり、将来あるべき姿を検討したりする地域密着型の住民自治組織「まち協」の設立と運営を支援しています。



まち協が目指すもの

まち協では次のような目標を掲げ、自分たちで地域のために何ができるのかを考え、積極的に活動しています。

- 地域の活性化
- 教育文化活動の推進
- 健康増進や地域福祉の推進
- 防災・防犯など、安全安心なまちづくり
- 地域環境整備の推進など

これらの目標を達成するために地域住民の知恵と力を結集し、各地区の特色を生かした地域づくりを進め、住みよいまちづくりを目指します。

各地区まち協の活動内容を紹介します

〔小松原地区〕

「健康で 明るい 住みよい 小松原」というスローガンの下、のぼり旗を作製して各自治公民館や地区まつりで掲揚しました。今後、このスローガンの実現を目標に活動していきます。



〔妻ヶ丘地区〕

地区内の触れ合いと絆の結束、そして郷土愛の意識高揚を目的に「妻ヶ丘よかとこ音頭」を自主制作しました。地区内の行事で踊るなど、住民に広く浸透してきています。



〔五十市地区〕

地区住民が安心して暮らせる住みよい地域を目指すため、災害、交通事故、声掛け事案の危険箇所を掲載した「五十市地区防災マップ」を作製しました。



〔横市地区〕

横市地区の自慢したい・未来の子どもたちに残したい風景を、地区住民に投票してもらい、「新横市十二景」が決定しました。地区の紹介などで活用したり、地区外の人たちに魅力を発信したりする手段として役立てていきます。



大人と子どもと一緒に 取り組むまちづくり



祝吉地区
まちづくり協議会
会長

山下 孝一さん

祝吉地区まちづくり協議会は、早水あやめ祭りやウォーキング大会、文化祭などのイベントを企画・開催しています。今年度は、環境美化に取り組み、犬のふん害防止のために、公園などに看板を設置しました。また、早水公園内に髪長姫のパネルを立て、祝吉地区の伝説を観光誘致にもつなげていきたいと考えています。その他、小・中学生による「子どもまちづくり協議会」もあり、子どもたちがアイデアを出したり、ボランティアとして参加したりしています。大人だけではなく、子どもたちも一緒にまちづくりに加わり、地域みんなでこれからの祝吉地区をつくっていきます。

層の厚いまちづくり



姫城地区
まちづくり協議会
会長

田村 治義さん

姫城地区は、世帯数は増えていますが、年々、人口が減少しています。地区の課題として、地域や人との関わりが希薄になり公民館活動も、以前と比べると参加人数が少なくなっていることが挙げられます。そこで、私たちは、少しでもお互いの顔が見えるようにあいさつする習慣を地域と家庭、学校で連携して行い、防犯にも役立てるようにはしています。また、姫城地区の良さを再認識してもらうため、子どもたちと一緒に「姫城歴史マップ」を作製しました。さまざまな意見を取り入れながら子どもから大人まで交流ができる、層の厚いまちづくりを目指していきます。

【庄内地区】
「滝の駅せきのお」前広場に休憩施設を設置しました。庄内地区の観光資源である関之尾に憩いの場ができ、利用者の皆さんに喜ばれています。庄内地区の「おもてなし」の心が実感できる施設です。



【志和池地区】
親睦と交流を目的に、かつて地区を代表するイベントとして行われていた「まつり志和池」を、6年ぶりに「盆踊り大会」として復活させました。



【沖水地区】
児童の交通事故防止を目的に、「子ども見守り中」横断旗を作製し、子ども見守り隊や沖水小学校、地元企業に寄贈しました。



【中郷地区】
中郷地区内にある史跡や観光資源を地区内外の人に知ってもらうため、「中郷地区散策マップ」看板を作製し、金御岳など地区内の4カ所に設置しました。



【西岳地区】
小学校や地区社会福祉協議会と連携し、食生活改善推進委員の協力の下、「食」への関心と大切さを親子で学ぶ「親子料理教室」を開催しました。